

富士の今と昔 ⑥

馬車鉄道は、人と荷物を運ぶ最新式な交通機関として、さびれていた吉原の町を発展させましたが、大正の末に廃止されました。(昔の写真を募集しています。お持ちの方は、市広報広聴課へご連絡ください。☎51-0123 内線529)



📷 コンクリート製になった河合橋

📷 河合橋と馬車鉄道(明治35年) 奈木盛雄氏提供



古屋藤雄さん(鈴川2)は、「沼川の水はきれいだっさ。子供が水遊びをしただからね」と話してくれました。

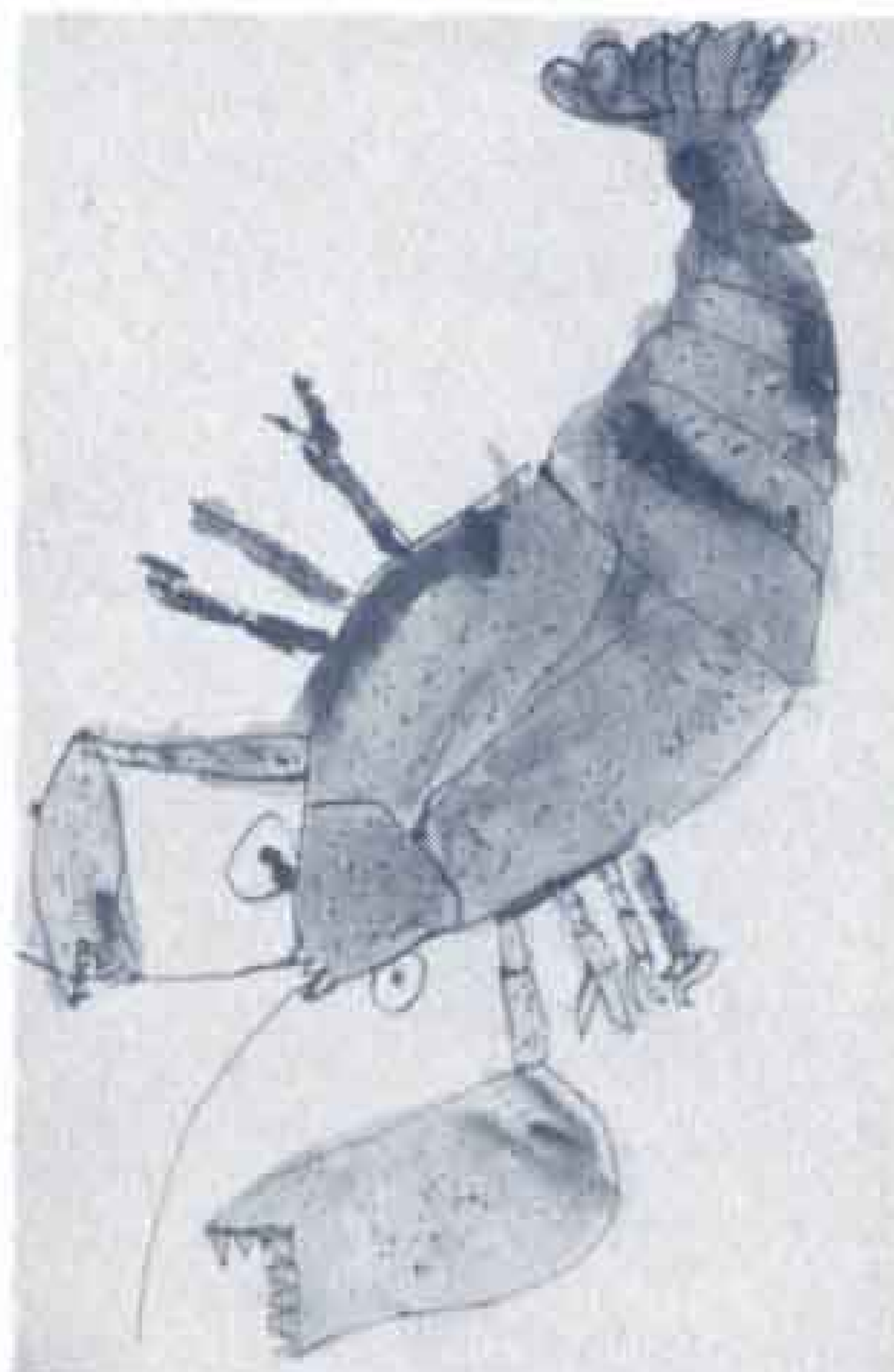
ぼくの作品 わたしの作品



父の日にちなんだ「お父さん」と、「ざりがに」の絵を書いたくれた光明幼稚園のお友だちの作品を紹介します。



やまがわめかり



みやがわめかり



めがねをかけたお父さん。いたずらすると、ちょっとおっかないけどやさしいよ。



ザリガニといっぱい遊んだよ。少しさわってみたけど、ハサミがいちばんこわかった。

丸火自然館

橋田 権治さん



ノリウツギ

梅雨の中、森を歩くと、ときに珍しい花、オニノヤガラ、シャクジョウソウを見かける。木の花はイボタ、リョウブ、ヒメシャラ、フジキ等の白いものが多く、小道に落花が美しい。ノリウツギの花も目立つ。この木から糊をとり、紙抄きに使う。

やがて森にヒグラシが鳴く。梅雨晴れの朝夕、おびただしい群が森を渡って一斉に鳴く。梅雨があがると暑い日が続く、午後になると激しい雷雨が荒れ狂う。

森の中はヤマユリの芳香が漂い、クリの花が匂う。アオダイショウ、マムシ、ヤマカガシ、シマヘビは雨の翌日、日当たりを求めて身干しをする。人に嫌われるヘビはノネズミをよく食べ、森の緑を守ってくれる。イタチの子もヘビが捕食する。成長したイタチはヘビを食べる。いわゆるイタチゴッコである。

早朝日の出前後、クロツグミ、アカハラ、サンコウチョウ、オオルリ、コルリ、ホトトギス、カッコウ、ウグイス等がさえずり、アカゲラのドラミングがさわやかに森に響く。